

南富良野町水害タイムライン第4回検討会

「南富良野町水害タイムライン第4回検討会」を開催しました。これまでのタイムラインの検討経緯や運用方法などについて、運用メンバーで理解共有を図るとともに、改めてタイムライン試行版の内容を確認しました。この検討会をもって今年度の出水期から「南富良野町水害タイムライン試行版」の運用を開始しました。今後、出水期後に第5回検討会を開催し、運用結果の振り返りなどを実施する予定です。

【実施日時】令和元年7月18日(木) 13:30~15:00

【実施場所】南富良野町役場 大会議室

【参加機関】南富良野町、防災関係機関5機関 42名

開会挨拶

南富良野町の高橋副町長から開会挨拶。「今年の九州での大雨で100万人以上が暮らす地域に避難勧告が出た。当町でもいよいよタイムライン試行版を活用して水防災を進める季節がやってくるので、今日の機会にタイムラインへの理解を深めるとともに、普段から各職員でタイムラインを確認しておき、いざという時に円滑に対応できるよう頭に入れておくようお願いしたい。」



南富良野町 高橋副町長

タイムラインの検討経緯について

異動等で初めてタイムラインに接する方もいるため、タイムライン策定の趣旨や平成28年8月洪水を踏まえて昨年度3回の検討会を経て試行版策定に至った経緯を事務局より説明しました。

試行版の運用方法について

試行版で設定されたタイムラインステージの移行基準や各ステージの防災行動の目標などを再度確認・共有するとともに、各班の対応の流れ、タイムラインの活用方法などを事務局から説明し、参加者で合意を図りました。



試行版の内容の確認・調整について

タイムライン試行版に記載されている内容について、対応内容や実施タイミング、役割分担などの確認などを行いました。そのうえで、今年度の出水期から活用していくことの合意を図りました。

講評

検討会の黒木アドバイザーから講評。「災害が発生しそうな状況のときに、暗黙のルールで対応していると、問題点も良かった点も何年か経ったときに引き継がれずに忘れてしまう。試行版策定後に人事異動があったと思うが、このような機会にしっかりと確認し、必要なことを引き継いでおくことが重要。タイムラインには意思決定がなされ、各自が何をすべきか流れが書いてある。自分達が何をすべきか、不足している事などを今後、議論のうえ、追加修正してバージョンアップしてってもらいたい。」



黒木幹男アドバイザー

閉会挨拶

札幌開発建設部空知川河川事務所の花巻所長から閉会挨拶。「水害が起こらないのに越したことはないが、3年前のような水害が発生する可能性もある。近年、各地で大規模な水害が起こっており、これまで雨が多くなかったところでも発生している。水害は必ず発生するという意識を持ち、タイムラインを活かして、今後も減災対策に努めて頂きたい。」



空知川河川事務所 花巻所長